

事務事業名	防衛施設関連道路整備事業（8条）	整理番号	33105-030
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和57年度～	年度	根拠法令・要綱等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
基本計画における位置付け	基本政策	3-3	歩行者と環境に配慮した交通体系の整備	関連
	政策	3-3-1	道路網の整備	政策

事務事業の内容

目的 (何のために)	演習場周辺の市道について改良・舗装を行い、生活環境の向上を図る。
対象 (誰・何を)	防衛施設の設置又は運用によって障害を生じる住民
手段 (どのようなやり方で)	道路改良、舗装補修
成果 (どのような状態にしたいか)	演習場周辺の生活環境の向上
事務事業の背景・住民の意向	演習場使用に伴い障害を受ける地域住民は、生活環境の改善を国に強く要望している。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成18年度	改良3路線 改良舗装1路線 舗装補修1路線 L=2,032.6m	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>150,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>300,000</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>250,000</td> <td>150,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	18年度	150,000	100,000	19年度	300,000	150,000	20年度	250,000	150,000
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
18年度	150,000		100,000											
19年度	300,000	150,000												
20年度	250,000	150,000												
平成19年度	改良1路線 改良舗装1路線 舗装補修1路線 L=2,033.6m													
平成20年度	改良2路線 改良舗装1路線 L=1,464.5m													

評価指標

<p>事業進捗率(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H25目標</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	年度	進捗率(%)	H18	25	H19	25	H20	30	H25目標	50	<p>施工1m当たりコスト(円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>70,000</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>210,000</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>260,000</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト(円)	H18	70,000	H19	210,000	H20	260,000	H0目標	0	
年度	進捗率(%)																					
H18	25																					
H19	25																					
H20	30																					
H25目標	50																					
年度	コスト(円)																					
H18	70,000																					
H19	210,000																					
H20	260,000																					
H0目標	0																					

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	大通り団地や富士山ゾーンなど、演習場周辺の開発を推進するためにも早急な整備が望まれる。	継続
	有効性		
	効率性		
総合評価	B		

改革プラン

平成21年度からの対応	引き続き、演習場周辺の市道について改良・舗装を行う。
平成22年度以降の対応	引き続き、演習場周辺の市道について改良・舗装を行う。
改革により予想される成果	演習場周辺の住居環境の改善が進む。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	団地間道路整備については、継続事業であることや財産区繰入金8割による事業であることから、引き続き事業を実施する。新規事業は、当面は凍結する。
仕分け理由	
防衛8条による道路整備は、市債を含めて多額の裏負担を生じることから、新規事業の凍結や事業規模の縮小等により、事業費の縮減を図る。	